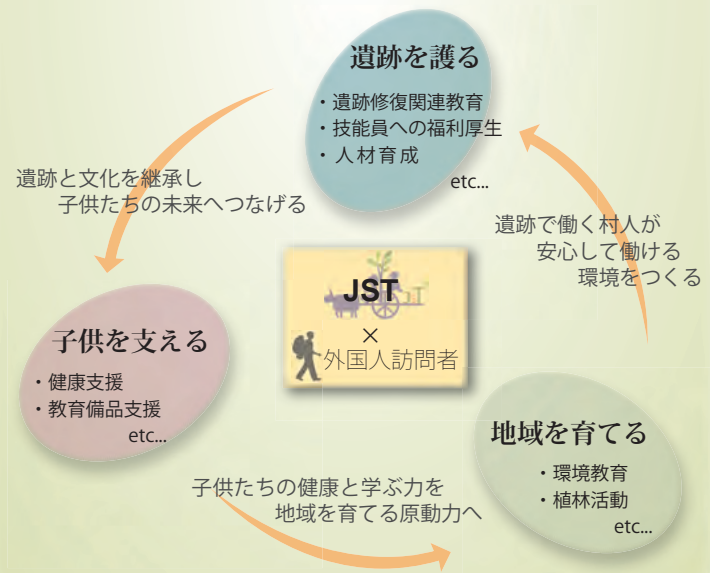




JST は
遺跡周辺に暮らす
村の人々と共に活動しています

はじまりは 1994 年。
アンコール遺跡修復事業に派遣された日本人専門家と、作業現場で働くアン
コールクラウ村作業員との、村ぐるみの交流がきっかけでした。
そして、2005 年にローカル NGO として JST が誕生。
カンボジアの歴史・風土に魅せられた 外国人訪問者を巻き込んで、遺跡と、
遺跡で働く村人と、遺跡を訪れる外国人訪問者、すべての人々が集える
“場”として、JST が存在できたら、と思っています。



JST NEWS!!

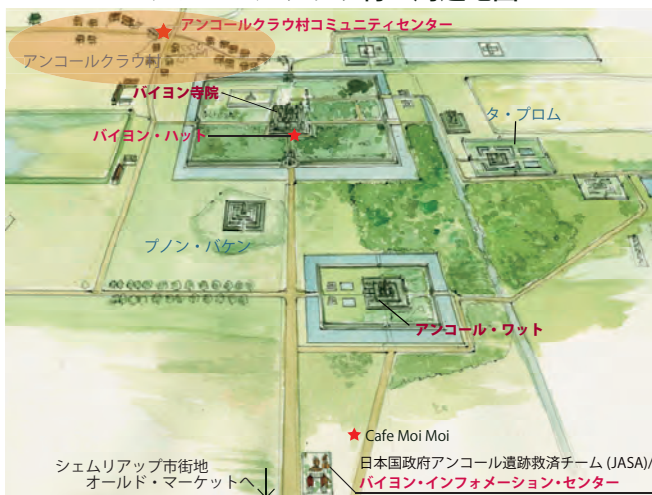
アンコールクラウ村の子供たちの絵画展
が日本で開催されることになりました！皆
様のお越しをお待ちしております！

日カンボジア友好 60 周年記念事業
「カンボジアの子どもたちの絵画展」
—アンコールから輝く未来へ—

場所：新宿高島屋 11 階催場
開催期間：2013 年 8 月 15 日～ 20 日



アンコールクラウ村 周辺地図



JST 連絡先

JST HP : <http://www.jst-cambodia.net>

Email : info@jst-cambodia.net

♥ JST メインオフィス (JASA/UNESCO OFFICE)

住所：C/O Chea Nol(Mr.), #056, Group 6, Phum Tropeang Ses,
Khum Kokchork, Srok Siem Reap, Kingdom of Cambodia

代表：チア・ノル Fax:+855-063-760-249

担当：小出 陽子 TEL:+855-12-627277(小出)

♥ JST 日本窓口 (早稲田大学アンコールプロジェクト研究室)

住所：〒169-8555

東京都新宿区大久保 3-4-1 55 号館 5 棟 9 階 08 (JST 宛)

■ JST 会員随時募集中です！

ご入会いただける方は、JST ホームページより申し込みフォームに
ご記入の上、Email または FAX にて上記連絡先までお送りください。

個人会員：US \$50 又は ¥6000

JST にご協力くださる団体・企業の方も大歓迎！

年会費、基金のお振り込みは下記の口座をご利用頂けます。

ゆうちょ銀行 名義；ジェイアンドエスエーシー

普通預金 口座；記号 10010 番号 97367631

(他行より； 店番〇〇八 口座番号 9736763)

JST への支援グループ

特別協力：日本国政府アンコール遺跡救済チーム (JASA)

日本ユネスコ協会連盟

アンコールやまなみファンド

NPO 法人 オアシス

紀南ユネスコ協会

幸田サーキット YRP 桐山

(一財) 国際開発センター (IDC)

自立のための道具の会

聖心女子学院

KDDI 株式会社

富山ライオンズクラブ

田辺市国際交流協会 (TIES)

土岐市国際交流協会

一宮中央ロータリークラブ

塩釜ロータリークラブ

東京新橋ロータリークラブ

東京レインボーロータリークラブ

常滑ロータリークラブ

Together To the Future(TTF)

(株) 三田商会

はじめ塾

リサイクルの会

(株) タイワ精機

ローターアクト (愛知)

Cafe Moi Moi

Joint Support Team
for Angkor Preservation and
Community Development



2013 年度
活動のご案内

JST

アンコール遺跡の保全と
周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構



遺跡を護る

地域の人々が安心して遺跡修復を続けていけるように、そして育った芽を着実に次の世代へとつなげるため、JSTはJASAと協力して遺跡修復活動、技能員の支援を行っています。

バイヨン寺院 ナーガ・シンハ彫像修復事業開始



20年に渡るJASAの活動の中で育まれた人材育成の輪の集大成として、JSTでは「カンボジア人からカンボジア人へ」の技術移転をめざし、2012年より新たな取り組みとして、バイヨン寺院ナーガ、シンハ彫像修復事業を開始しました！

この新事業のためにアンコール・トム周辺の村から集められた新人技能員は、日々JASAの熟練技能から遺跡修復、石材修理の指導をうけ、順調に成長しています！

※この事業はJASAの技術協力のもと、日本ユネスコ協会連盟と共同で実施されています。

地域と歩む

「カンボジアの未来は、カンボジア人自身が築き上げる」ことを目指し、JSTは将来を担う村の子供たちや青年層、学校教師となる若い人材を育てることに重点を置いています。

みんなで中学校をつくらう！

農村部では子供たちが外国語や美術、体育などを勉強できる環境がほとんどありません。アンコールクラウ村コミュニティセンター内に設立したやまなみ塾では、英語・日本語・絵画などの教室を開いています。また、日本の皆さんから送っていただいたユニフォーム、文具、ランドセルなどを地域の小学校に配布し、物資面、内容面で教育の充実を図る努力を続けています。

一方で、アンコールクラウ村周辺地域には中学校はなく、子供たちは中学校進学や将来の目標が描きにくい環境にあります。そんな「中学校がほしい！」という声にこたえ、JSTでは、アンコール・トム西側地域の5つの小学校卒業生を対象とした中学校の建設に着手しました。2013年10月に最初の教室が完成し、地域初の公立中学校となります。学校運営にはJSTも参画し、地域に根差した教育を目指して、遺跡修復、語学、農業、芸術などもカリキュラムに加えていく予定です。この中学校が、この地域で高校、専門学校、大学へと続く道の最初の一步になることを期待しています。

中学校応援基金

新中学校に通う子供たちに机と椅子をプレゼントしませんか？
1セット \$50から

社会見学会基金

「カンボジアの子供たちのための社会見学会」を応援しませんか？
生徒一人当たりの参加費 3人分 \$30から

カンボジアの子供たちへの社会見学会



シェムリアップはカンボジアを代表する文化遺産群がありながら、子供たちの教育と文化遺産がうまくつながっていないのが現状です。その中で、遺跡修復チームと協働しているNGOだからこそできる機会の提供を！

と、2009年より「カンボジアの子供たちのための社会見学会」を実施しています。JASA・JSTのカンボジア人メンバーが子供たちに母国語で古代の技術や修復の重要性について説明します。遺跡を未来に繋いでゆくために、社会見学会を応援してくれる方を募集しています！

村の子供たちの元気を応援

2012年で3年目を迎え、ますます充実している給食プロジェクト。普段、村ではめったに食べることができない鶏肉と野菜がたっぷり入った雑炊を何杯もお代りできるとあって、子供たちは大喜び。数年前は雑炊を配ってもらう側だった子供たちも、今では自分よりも年少の子供たちへ雑炊を配るようになるほど成長しました。

また、「移動式給食プロジェクト」と称して、リヤカーで食材を運び、町からさらに離れた村の子供たちへの支援も行っています。



日本からの支援物資、村で大活躍！



子供たちの元気が村の元気に！

あなたのチカラをカンボジアの未来へ

植林基金

「アンコールの森（※本年度は中学校の校庭）」に苗木を植えてみませんか？
苗木3本分（3年間のメンテナンス込） \$30から

雑炊基金

クラウ村の子供たちの健康・栄養改善を応援しませんか？
雑炊の実施費用 30人分 \$30から
※一度に100人分の栄養たっぷりのカレーや雑炊を用意します！

遺跡修復活動を伝える

JSTでは、より多くのカンボジアの子供たちに遺跡の面白さや修復の大切さを知ってもらうため、「遺跡修復絵本」の製作を進めています。

また、JSTで行っている修復現場やアンコールクラウ村を紹介するツアーでは、ツアーを催行して得た収益を、子供たちへの遺跡教育事業や修復作業員への福利厚生など、JSTの活動にて活用しています。2012年度は、日本をはじめ各国から2000人以上のお客様にご訪問いただきました。

みなさんが興味を持つこと、訪れることが地域や遺跡のチカラになります！



修復絵本、着々とできあがっています！

環境衛生教育プロジェクト 達成！

アンコールクラウ村の青年グループが中心となり、地域の16の小学校を対象に3年間かけて活動を行った『地域の小学校での植樹活動と未来の環境教育・保全活動指導者育成』プロジェクトが終了しました。農村部の小学校では、今まで、衛生・環境・森林保護などの指導が行われていなかったこともあり、各小学校で、ゴミ問題が解決するなど飛躍的な改善がみられました。



また、村の青年グループの成長も目覚ましいものがありました。現在では、野菜栽培やナマズ養殖事業の実施、海外からのスタディツアー学生との交流等も行い、村の未来を支える人材として、また、外の世界と村をつなぐ存在として活躍しています。こうした青年グループの活動は、州の教育機関や地域の住民も高く評価。ますます広がる彼らの活動に期待します！

JSTの活動地を訪問して応援する

カンボジアの遺跡群と農村のことをもっと知ってもらいたい、という思いからJSTでは保存修復の専門家による遺跡修復現場のご案内や、アンコールクラウ村での農村体験やホームステイ、村の子供たち、青年たちとの交流など、一般のツアーとは「ひと味違う」カンボジア体験をご提案しています。ツアー代金の一部に村や遺跡への支援が含まれています。旅を楽しみながら、村や修復を応援しませんか？
ご興味をお持ちの方はぜひ info@jst-cambodia.net までご連絡ください！